

M・アカデミー第20回小・中学生陸上競技交流大会報告

M・アカデミー主催の本大会も回を重ねて第20回の節目の開催となりました。今回もM・アカデミー会員の協力はもとより多くの関係機関の方々のご支援をいただき成功裏に開催することができました。

本大会の第1回大会は多摩川河川敷の大田区民広場を借用して開催しました。ラインカーでトラックのレーン作りから始めた、正に手作りの大会としてスタートしました。

今第20回大会は、761名の選手に参加を頂きました。中学生は東京都大会が重なり参加者が少なく118名でしたが、小学生は近隣のほか静岡市からも参加を頂き過去最高の643人になりました。本大会は、全国大会の予選会を控える都内小学生にとってその前哨戦となり、今では毎年開催を期待される大会の一つとなっています。

このように回を追う毎に大会を盛大に行うことができるのは、多くの参加選手、そして選手をご指導されている各クラブ関係者・保護者の方々のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。そこで節目の今大会の開催にあたり、毎回多くの選手を送り込んで大会を盛り立てて頂いた「ミウラスポーツクラブ」「バディー陸上クラブ」及び「KMC陸上クラブ」に感謝状を贈らせていただきました。

さて大会を振り返りますと本年も雨模様の中での開催となり、前日から雷雨注意報には途中での中断を危惧しましたが、雷雨もなく比較的よいコンディションに恵まれました。そんな中で16個の大会記録と1個の大会タイ記録が生まれました。なお、別記2選手にM・アカデミー名誉会長・佐々木秀幸杯が授与されました。

大会に参加された全ての選手の皆さんが、よく走りよく飛びまたよく投げました。そして、1週間後の全国小学生陸上競技交流大会東京都予選会においては、当大会に参加された選手の中よりベスト8に輝いた選手が多数生れ、全国大会の切符を手にした選手も誕生しました。

運営の面においては、今回から記録のシステムを一新し、東京陸上競技協会のシステムを導入しました。途中システムダウンによりトラック競技が中断し記録の発表が遅れるというアクシデントもありましたが、素早い対処により大きなトラブルとなることなく最終的にはほぼ予定どおりの進行ができました。担当された記録情報員の方々には心より感謝いたします。今回もこのように競技役員ほか関係者のご協力のもとで競技会を行うことができました。主催者の一人として心より感謝申し上げます。会員の皆様とは、共に今大会を総括し次回大会に繋がたいと考えています。よろしくご協力をお願いいたします。

《M・アカデミー名誉会長佐々木秀幸杯》

永井真滉（千代田AC所属）さん 小学女子5年 80mH13秒43 走幅跳4m26（いずれも大会新）

白土茶実（ima kids所属）さん 中学女子1年走幅跳 5m31cm（小学5年から3年連続大会新）

